

ぽっかぽか

6月号 らいおん組

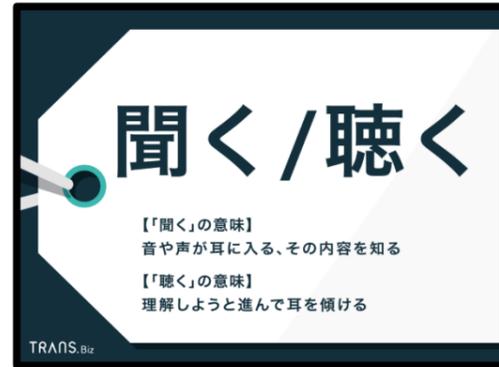


もうすぐ梅雨入り🌧️雨でなかなか戸外に出ることが難しくなる季節なので、室内でも子どもたちがイキイキわくわく過ごせるよう、『遊園地ごっこ』を子どもたちと計画しています♪先月のグループ活動を通して、意見の聴き方・伝え方がより上手になってきている子どもたち！様々な意見やアイデアを発信してくれています！今月は、らいおん組で取り組んでいる“話の聴き方・伝え方”・“お箸検定”についてお知らせします。

話を聞くから“聴く”へ

いきなりですが、保護者の皆様こんな経験はありますか？

大人「〇〇の準備よろしくね」
子「わかった～」
大人「そろそろやりなさいよー」
子「うん」
大人「なんでやってないの？さっき言ったでしょ！」
子「、、、」



このような場面になった時、何で言ったのに聞いてくれてないのだろう？と頭を悩ますことがあると思います。これは話を聞いている(音や声が耳に入っている)だけの状態です。こんな時は、話を“聴く(理解しようと進んで耳を傾ける)”環境を整えてあげると改善するかもしれません💡

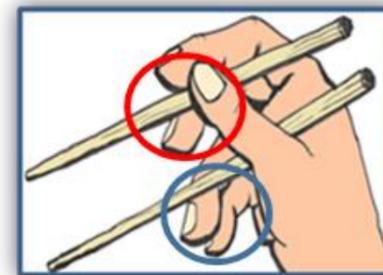
園で一番意識していることは目を見て伝えることです👁️ 乳児クラスの頃から大人が目を見てコミュニケーションをとることを続けてきたからこそ、目を見て話を聴く・伝えることが子どもたちの習慣になってきています。その他にも耳からの情報だけではなく、見てわかりやすいよう写真や図・絵カードなどを用いながら話をしています。幼児クラスになり、集団での活動や一斉指示が増え、ただ聞いているだけだと見通しを立てることが出来ず、次の行動に移れなくなってしまいます。聞くから“聴く”へレベルアップすることで、就学後も次の授業の準備や移動教室などの指示があった際、自然と話し手に注目し、指示を聞いて行動に移すことが出来てきます！

子どもを注目させる簡単でおすすめの方法は、話す前に効果音を使って注目を促すことです。らいおん組では、大人の「ピンポンパンポン」という声が聞こえると自然と顔を向け、大人に注目する習慣ができています。他にも、『ファミリーマートの入店音』や『マクドナルドのポテトが上がる音』など、子どもに聞きなじみのある音は注目することに繋がると思います。子どもが注目したなと思ったら“目を見て伝える”をぜひやってみてください♪

また、『話の聴ける子』は、あおぞら保育園の保育目標の一つになっています。就学に向けて話が聞けることはもちろん大切ですが、将来人の話に耳を傾け、話を聴いてあげられる存在になってほしいという想いも込めてこれからも支援していけたらと思います！！

🎯 お箸検定が始まります 🎯

Q：質問	A：回答
お箸検定の何レベルまで？	レベル1～10まであります。
合格すると？	レベル5を合格するとお箸で給食を食べられます。 レベル6以降はお箸を使ったゲーム感覚でより高度な操作性の獲得を目指します！
家でも練習したいので検定カードをみたい！	担任までお声がけ下さい！ ポイントもお伝えします。
中々合格しない・・・	お箸のは一生使う物になりますので、正しい持ち方を身につけてほしいと考えています。 習得には、個人差が生まれ時間と練習が必要ですので、焦らず卒園までの合格を目指してご家庭と連携を取りながら、進めていけたらと思います。



ポイント
中指は上の箸に！
中指が箸の間にあると○

薬指・小指の空間
空間あり=三点持ちの証拠です！

☆お泊り会の説明会を行います。

日時：2024年7月5日 金曜日 18時～19時

場所：あおぞら保育園 2F ホール

卒対の役員さんからののお知らせもあります。ご参加のほど、よろしくお願いします。

後日、クラスに出欠表を掲示しますのでご記入ください。